

「神戸村文書」を 読む会

神戸市立中央図書館が所蔵する「神戸村文書」は、江戸時代後期の神戸村の様子を私たちに生き生きと伝えてくれます。神戸村に生きた人々の息吹を、少しずつ古文書を読み解きながら感じてみませんか。

今回講座は小グループに分かれて古文書を読んだのちに、講師の解説を聞くという形式で行います。グループで読むときには、助手として大学生や大学院生が解説のお手伝いをしますので、初心者の方も安心してご参加下さい。

講座は4回連続で、4回目は中央図書館で「神戸村文書」の現物の見学も予定しています。ふるってご参加下さい（定員は20名、受講料は無料です）。

第1回 11月13日(月)18時～20時
@こうべまちづくり会館 会議室

第2回 11月20日(月)18時～20時
@こうべまちづくり会館 多目的室

第3回 11月27日(月)18時～20時
@こうべまちづくり会館 会議室

第4回 12月2日(土)15時～17時
@神戸市立中央図書館

参加希望の方は、以下まで往復はがきでお申し込みください。

〒657-8501
神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学大学院人文学研究科
地域連携センター「神戸村文書を読む」係
(11月1日までに必着)

